

みつくら

令和 7年 9月15日 第442号
発行 大瀬川活性化会議
編集 「みつくら」編集委員会
花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
大瀬川振興センター 電話45-6472

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

「地域に貢献した今坂家」企画展

大瀬川歴史クラブでは、8月10日から31日まで大瀬川振興センターで「地域に貢献した今坂家」企画展を開催した。大瀬川には地域に貢献した方々が多くいるが、その中から今坂家に焦点をあてたもの。数年前に今坂家の作業場を解体した際、貴重な資料が出て来たので、それらを披露したいと思ったのがきっかけであった。

企画展の内容は、今坂家初代の板垣長五郎（以下故人の敬称略）は明治大学法学部の校外生として学んだ後に28歳で好地村役場に採用され、その後好地村が石鳥谷町になり、行政制度が大きく変わった時代に助役として貢献したもの。

また、2代目の板垣幸道（ゆきみち）は独学で教員資格を得て、石鳥谷小学校の教師になり、そのころから結核で多くの命をなくした町民のために石鳥谷町に公立病院が必要であると説いていた（甘木家板垣安家と東家板垣栄の資料）。玉山景三町長に請われて教師から町職員になった板垣幸道は2年後に企画課長として町立病院の建設に奔走し、ついに開院に漕ぎつける。板垣幸道なくして町立病院は語れない。以後板垣幸道は町助役としても町政に貢献している。

大瀬川からの助役は板垣傳三（好地村助役）、板垣長五郎（町助役）、板垣幸道（町助役）、板垣弘清氏（町助役）の4名の内、今坂家からは2名である。板垣幸道の妻である板垣ユナは、大瀬川小学校教員の傍ら、戦前から戦後にかけて石鳥谷町の婦人運動の先駆者であった。これら今坂家の3人を取り上げた企画展であった。

シュタイナー学校と共催で賢治やまなし祭

石鳥谷賢治の会と東京賢治シュタイナー学校共催の第14回賢治やまなし祭は、8月3日に50名が参加して宮沢賢治やまなし園で行われ、来賓には花巻市長（代理大竹静治賢治まちづくり課長）と熊谷秀夫大瀬川活性化会議会長を招いて行われた。今年の賢治やまなし祭には、東京賢治シュタイナー学校から、先生や生徒、父兄31名と石鳥谷賢治の会員など合わせて50名が参加した。

やまなし祭の最初は、童話「やまなし」の朗読で、これまで大瀬川子供育成会の生徒が朗読発表をしていたが、今回は初めて東京賢治シュタイナー学校の生徒5名がお父さん蟹や子蟹兄弟、ナレーターなど役割を分担し朗読をした。続いて佐藤勝花巻市教育長の講話「ここはイーハトーブのワンピース」を傾聴した。講話は花巻市が賢治作品に多く取り上げられていて「注文の多い料理店」や「雪渡り」、「風の又三郎」「檜ノ木大学士の野宿」などとの関わりを紹介した。

プログラムの最後は太田代政男さんのエレクトーンによる「やまなし讃歌」と「精神歌」を自らが歌いながら披露した。太田代さんは県内の校長を退職後に各地でコンサートを開くなどプロの音楽家でもある。宮沢賢治やまなし園での第一部「賢治やまなし祭」の後は、会場を大瀬川振興センターに移して「東京賢治シュタイナー学校と交流会」を開いた。この交流会では、幻燈紙芝居「やまなし」が披露され、紙芝居の読み手は菅原慶子さんと、菅原富男さんと板垣公さんが紙芝居の出し入れを手伝った。

続いて東京賢治シュタイナー学校の方々と大瀬川子供育成会の方々との意見交換会が行われ、それぞれの感想などが語られた。最後に、石鳥谷賢治の会顧問の板垣寛さんから東京賢治シュタイナー学校へ「学校の教材に役立てていただきたい」と10万円の寄附贈呈があった。

念願の外で盆踊り

8月14日に行われた「2025大瀬川盆踊り」はお知らせ版に写真で多く掲載されていたので、8月17日付けの岩手日日新聞での記事を紹介したい。

「花巻市石鳥谷町大瀬川地区の夏まつりは14日、同町大瀬川運動公園で開かれ地域住民らが世代を越えて屋台や盆踊りを楽しんだ。

コロナ禍で途絶えていた地域行事をもう一度定着させようと2023年に復活させ3年目。地域住民らでつくる実行委員会が主催し、県立花北青雲高校の生徒13人がスタッフとして協力した。屋台では焼き鳥や焼きそば、かき氷、ラムネ、同校オリジナル和菓子「青雲どら焼き」などが販売された。縁日コーナーでは子供らが射的や型抜き、ヨーヨー釣りなどを楽しんだ。盆踊りでは、地域で踊り継がれてきた大瀬川音頭、新・旧いしどりや音頭のほか、ダンシングヒーロー盆踊りなどで、地域住民と生徒が踊りの輪を作った。

過去2年は雨で屋内開催となり、屋外で開くのは復活後初めて。実行委員長の熊谷茂さんは『よく晴れて念願の屋外開催ができてよかった。今後も帰省してくる人や子供たちの良い思い出となるよう続けていきたい』と話していた。」とあった。

この晩に配った整理券は110枚以上で、高校生も参加して「すごく楽しかった」との声も聞こえ、来年も期待したい。

6回目の草刈り作業を行う

下大瀬川美土里の会（熊谷俊彦代表）では、ほとんどの稲穂

が垂れ下がった8月23日に6回目となる草刈り作業を実施した。今回は自作地と耕作地が対象の畦畔草刈り作業のためか57名が参加した。

今年は異常な高温続きで、全国でも体温超えの最高気温を更新しており、連日熱中症対策を呼び掛ける報道されている。朝礼では、会が掛けている保険では熱中症が対象外のため各自機械の安全点検等の他にも熱中症対策として適度の休憩と水分補給の徹底の指導が行われた。当会では、市道や水路の草刈り作業をこの後2回予定している。

ラジオ体操会が行われる

恒例となっている大瀬川体育協会（板垣雄一会長）主催の「大瀬川ラジオ体操会」は、8月13日に大瀬川運動公園で開催され十数名が参加した。今回は、子供たちが少なかったので皆で輪を作って行った。

人 事

花巻農協総代

7区 畠山義弘（再）8区 板垣光善（新）板垣賢仁（再）
9区 藤原芳男（新）女性枠 7区 菅原優子（新）

訃 報

谷地家の板垣幸寿さんは8月6日に82歳で亡くなられました。突然の訃報に誰もが驚きましたし、悲しみに包まれました。昨年に瑞宝単光章を賜り、祝賀会をしたばかりでしたのに……。板垣さんで思い出すのは約30年前の大瀬川山林大火です。当時板垣さんは石鳥谷町消防団第二分団長として真っ先に駆け付け、陣頭指揮を執って消火にあたったのです。全国的な災害史に載る大火の鎮圧に深く貢献されました。板垣さんは若いころから農業一筋に歩まれ、水稻をはじめ、キュウリやピーマン部会で多くの役職を担いながら、石鳥谷町農協、ひいては花巻農協の理事を務められるなど功績は語り尽くせないほどでした。後に板垣さんはご夫婦で花巻市農業賞を授かりました。まさに板垣さんの生涯を表しています。もうひとつ思い出されるのは、岩手めんこいTVが板垣杜氏の1年間を追った酒造りのドキュメントです。「暑い夏なので、品質が心配でこの間も吾妻嶺（酒造）に行ってきました・・・」と語られた夏場の農業期間中の場面がありました。そこには、45年間多くの鑑評会で優等賞に輝いた板垣さんの南部杜氏としての姿がありました。

板垣さんの葬儀で、熊谷恭一さんがラップで「葬送」を奏でた際は、思わず会葬者の涙を誘いました。

石鳥谷農協農作業受託者協議会長、第8区自治公民館長、花巻農協運営審議委員、山王海土地改良区筆頭理事、花巻農業協同組合花巻地域野菜生産部会石鳥谷支部長、JAいわて花巻石鳥谷地域年金受給者友の会副会長など数え切れないほど私たちがお世話になりました板垣さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。